

## 天王祭（てんのうさい）

えきびょう 疫病が流行する夏に、たいさん きがん 疫病退散を祈願して行われるお祭りです。病気の流行を防ぐために、神輿を荒々しく担ぎまわったり、だし やたいばやし 山車や屋台囃子が出されたりするのが、このお祭りの特徴の一つです。とくちょう 栃木県内でも「夏祭り」として各地で行われています。



喜連川天王祭  
(昭和後期 県立博物館提供)

「天王祭」が始まると、  
「夏が来た!」と感じるまる☆☆  
大人も子どもも、  
みんなが楽しみにしている  
お祭りまるね☆☆



## 〈天王祭の説明〉

天王祭のほか、「お天王さん」、「祇園祭」、「八坂祭」と呼ぶところもあります。

「喜連川天王祭」のあばれ神輿は、観衆にぶつかりそうな勢いで神輿をくねらせて進むのが習わしです。また、昔の大名行列を再現した「百物揃い」も見所の一つです。

益子町の「八坂神社祇園祭」では、祭られた神様は女性といわれ、神輿の担ぎ方もしとやかだといわれています。

各地域に伝わる夏祭りは、疫病退散を祈願することに加えて、地域の人たちのつながりや地域の伝統を守ってこうという想いを育んできました。

ユネスコ無形文化遺産に登録された那須烏山市の「山あげ行事」も、この流れをくむものです。